

第6回 練馬区立春日町第三保育園運營業務委託事業者選定委員会
会議要点記録

平成24年7月24日(火) 午後6時～7時

練馬区役所本庁舎 12F 教育委員会室

出席者：学識経験者2名、有識者2名、区立保育園園長経験者1名、
こども家庭部長、保育課長、事務局(保育計画調整課長)

1 事業者の選定について

審査評価表の評価には、選定委員の平均値を使用する。また、事業者選定の最低基準を1,000点中700点とする。

「A 提案書等による審査」、「B 現地調査による審査」、「C 園長候補者等ヒアリングによる審査」の順に、審査評価表の評点を見ながら論議を行った。

《主な意見》

事業者A

- ・外部講師による体操教室、絵画教室、英語、リトミックを取り入れるなど、保護者の要望に応える保育を行っている。
- ・個別の指導計画を保護者に伝えたり、就学前教育を見据えた取組を行ったりして、法人組織として保育に前向きに取り組んでいる。
- ・おもちゃやコーナー設定など、保育環境の設定に更なる改善が望まれる。
- ・園長候補者は公立園での経験が豊富であるが、法人の保育理念等が伝わってこなかった。

事業者B

- ・調理室は清掃が行き届いており、衛生管理が徹底されていた。
- ・5歳児が地域のゴミ拾い活動を行う等、地域と関わり合いを大事にしている。
- ・子どもが自分であそびを選べるコーナーづくりや玩具の充実が望まれる。
- ・園長候補者は公立園、私立園での経験が豊富であるが、法人の保育理念等が伝わってこなかった。

社会福祉法人 みわの会

- ・見守る保育を実践し、職員は穏やかな声かけや表情で子どもたちに接している。
- ・子ども主体の保育となるようなコーナー設定がなされており、子どもが遊び込める場が確保されている。
- ・手作り玩具や年齢や興味に応じた玩具が充実しており、数も豊富である。
- ・園長候補者の園長としての経験は少ないが、法人内にスーパーバイザーを配置している等、組織としてのバックアップ体制が確立されている。

総合的な評定により、子どもを主体とした保育や子どもに配慮した保育環境を設定していること、法人のバックアップ体制が確立されていることから「社会福祉法人みわの会」を春日町第三保育園運營業務委託の優先候補として選定した。